

## 循環をデザインする会社、石坂産業。

資源再生/産業廃棄物中間処理業

「ごみにしない技術」で減量化・再資源化率平均98%を達成

廃棄物を「焼却」するのではなく、徹底的に「分別分級」することで、高い減量化・再資源化率を誇っています。どんなごみでも、再び価値ある資源へと変えてみせる。再資源化率100%に向けて、飽くなき挑戦を続けています。



様々なパートナーとの共創・共働

地球規模で新しい「循環」を創造する

産学連携やクリエイターとのコラボレーションにより、廃棄物の減量化・再資源化率100%に向けた技術開発はもちろん「循環」をコンセプトにした、新しいライフスタイルを創造していきます。



スマートプラント実現に向けた3社協業  
株式会社日本電気 / インテル株式会社

2020年7月より、最新のICTやローカル5Gなどのネットワーク技術を導入し、プラント内の人員削減や安全を推進する取り組みを開始。トラックで搬入される廃棄物の容積を、レーザーセンサーで自動計測する技術等を開発しています。

廃棄物選別ロボット共同開発  
東急建設株式会社

東急建設が研究開発した廃棄物選別の技術をベースに、ディープラーニングによる画像解析技術を用いた、建設廃棄物選別作業の自動化を実現。2021年4月より、手選別ラインへビッキングロボット2台を導入しています。

環境教育/三富今昔村、石坂オーガニックファーム

石坂産業が考える自然・地域との共生プロジェクト



五感で学ぶ、サステナブルフィールド

石坂産業が持つ東京ドーム約4個分の敷地は、約80%が森林。その一部を「三富今昔村」として開放しています。里山に生息する植物や生きものを知るガイドウォーク、里山の暮らしを体験しながら学ぶ里山体験プログラムなど、多彩なプログラムを開催しています。

環境から農業を考える

自社農園「石坂オーガニックファーム」では、江戸時代から続く、落ち葉堆肥などによる三富のゆたかな自然を活かした農業で野菜・果物を育てています。農業を活かした環境教育を実践しています。

あらゆる製品を再資源化することができれば  
廃棄物が地球を埋めつくすことはなくなる  
世界からごみがなくなり  
資源として循環する日を目指して

## Zero Waste Design

### 会社概要

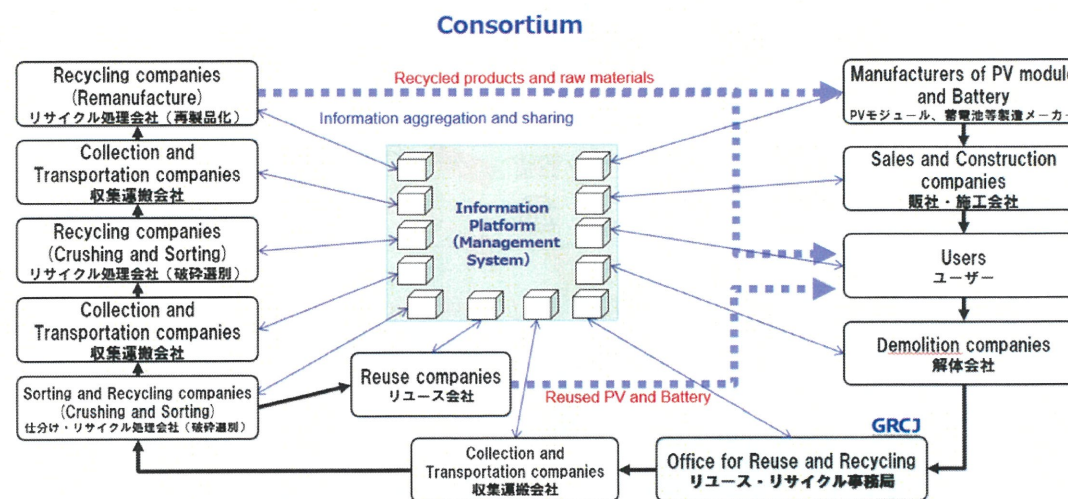
商号	石坂産業株式会社
代表者	代表取締役 石坂典子
本社・工場	〒954-0045 埼玉県人間郡三芳町上富1589-2
創立	昭和9年7月
設立	昭和46年9月
資本金等	5,000万円
売上高	6,162百万円 (2020年8月期)
従業員	約180名 (2021年1月)
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>産業廃棄物中間処理業(再生事業者登録済)</li> <li>収集運搬業・積替保管許可</li> <li>再生品販売業(再生砂・砕石・木材チップその他)</li> <li>古物商</li> </ol>

## 会社概要

富士通は、テクノロジーをベースとしたグローバルICT (Information and Communication Technology) 企業です。幅広い領域のプロダクト、サービス、ソリューションを提供し、約13万人の社員が世界中のお客様をサポートしています。私たちはこれまでの経験とICTの力で、お客様とともに豊かで夢のある未来の実現を目指しています。

- 社名：富士通株式会社 (FUJITSU LIMITED)
- 所在地：
  - 本店  
〒211-8588 神奈川県川崎市中原区上小田中4-1-1  
044 (777) 1111 (代)
  - 本社事務所  
〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター  
03 (6252) 2220 (代)
- 代表者：代表取締役社長 時田 隆仁 (ときた たかひと)
- 設立年月日：1935年 (昭和10年) 6月20日
- 資本金：3,246億円 (2020年3月末現在)
- 連結子会社数：391社 [うち国内子会社 156社 / 海外子会社 235社] (2020年3月31日現在)
- 社員数：連結 129,071人 単独 32,568人  
国内 82,232人 海外 46,839人 (2020年3月31日現在)

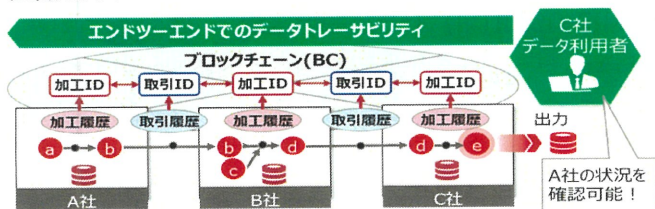
## GRCJと目指すガラスリサイクルにおける情報管理プラットフォームイメージ



## 当社が提供可能な技術・ソリューション

### <Chain Data Lineage>

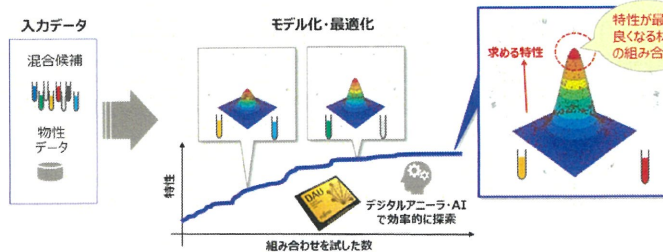
組織を跨ぐEnd-to-endでのモノやデータのトレーサビリティを実現



- ・ 組織毎の履歴情報を、組織を跨いで連結/紐づけ (一気通貫で双方向からの履歴追跡が可能)
- ・ 耐改ざん性と透明性を提供するブロックチェーン(Hyperledger Fabric)による履歴管理と、個別管理する機密性の高いローカルな履歴やデータ管理を連結管理(独自技術)

### <混合物設計支援サービス>

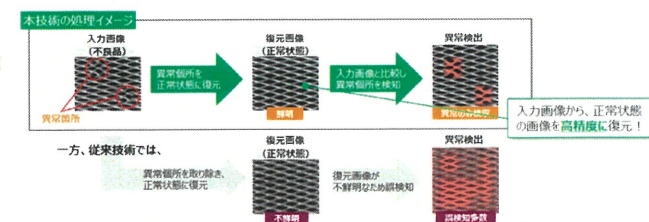
材料研究開発に必要なデータの選択・抽出から性能予測モデル構築・最適化までを一気通貫に実行できるMI基盤



※要素技術：デジタルアニーラ  
量子現象に着想を得たデジタル回路で、現在の汎用コンピュータでは解くことが難しい「組合せ最適化問題」を高速で解く新しい技術  
<https://www.fujitsu.com/jp/digitalannealer/>

### <画像検査AI技術(DeRA)>

製品の外観異常箇所を高精度で検出する画像検査AI技術



- ・ 画像検査AIの導入において、学習用の不良品画像サンプルの少なさが課題となるが、人工的に異常を付加した製品画像を用いた学習により、多種多様な異常の高精度な検出を実現



見本市を通じ  
日本を世界市場の中心に

## 私共は、国際見本市の開催によって 日本経済の発展と 貿易促進に貢献します

- 01 見本市によって、出展企業の売上げ拡大に貢献します
- 02 見本市によって、各産業の活性化と発展に貢献します
- 03 見本市によって、日本を、その産業における商売の中心地にします
- 04 見本市によって、開催都市に、巨大な経済効果をもたらします
- 05 見本市によって、国際貿易を促進し、世界経済の発展に貢献します



**RX Japan株式会社**

RX Japan株式会社(旧社名:リード エグジジション ジャパン)が設立されたのは1986年。

私共は「出展社と来場者が真剣な商談を行う本格的な商談展を創り上げることで、各産業の発展と日本経済の活性化に貢献する」という経営哲学のもと、その実現のために愚直に努力を重ねてまいりました。

その結果、2003年には見本市を主催する分野で日本最大の会社に成長。さらに、その後の17年間、成長の速度は加速し、2022年には年間の開催本数が94本になりました。「RX Japanは出展社が儲かる展示会を真剣に創る企業」という評価を頂戴し、今では年間延べ3万社以上に私共の展示会へご出展いただいています。

今後私共は、長年に渡って築きあげた成功へのDNAとノウハウを進化させ、「出展社・来場者の期待を超える商談展」を創り続けることで、各産業の発展と日本経済の活性化に貢献していく決意をしています。

見本市の詳細、最新情報は ▶▶▶  
www.rxjapan.jp



リード エグジジション ジャパン株式会社は、2021年7月15日に RX Japan株式会社へ社名を変更いたしました。

### 会社概要

名称	RX Japan株式会社	所在地	〒163-0570 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル18階
代表者	代表取締役社長 田中 岳志	TEL	03-3349-8501(代)
設立	1986年8月	E-mail	info.jp@rxglobal.com
資本金	1億6,300万円	URL	www.rxjapan.jp
従業員	393名(2021年4月時点)	グローバルネットワーク	当社は22の国と地域にネットワークを持つ RX Globalの一員です。
事業内容	国際産業見本市及びセミナーの主催・企画・運営。 東京ビッグサイトをはじめとする大規模見本市会場にて、 現在 年間35分野 94本の見本市を定期開催。(構成展は計363展)		

### 沿革

1986年 8月	リードエグジジションジャパン(現:RX Japan株式会社)設立	2010年 4月	「高機能素材 Week」開始
1987年 1月	「ネブコン ジャパン」を、カーナース社より引き継ぎ、定期開催を開始	6月	「COSME Week」開始
1988年 5月	「国際メガネ展」開始	7月	「教育総合展(EDIX)」開始
1990年 3月	「国際宝飾展」開始	10月	「FaW TOKYO(ファッションワールド東京)」開始
6月	「日本ものづくりワールド」開始	2011年 7月	「コンテツ 東京」開始
9月	「国際 文具・紙製品展」開始	10月	「農業Week【東京】」、「ツールジャパン」開始
1991年 7月	「ファインテック ジャパン」開始	2014年 7月	「ライブ・エンターテインメント EXPO」、 「イベント総合 EXPO」開始
1992年 7月	「Japan IT Week【春】」開始	2015年 2月	「医療と介護の総合展 大阪」開始
1995年 6月	震災後の神戸に貢献するため、「神戸 国際宝飾展」を開始	2016年 4月	名古屋に進出。「名古屋ものづくりワールド」開始
1998年 9月	大阪に進出。「関西ものづくりワールド」を開始	8月	設立30周年
1999年 6月	日本初の見本市買収。「インターフェックス ジャパン」を他社から買収、主催	12月	「ジャパンビルド」開始
2005年 1月	「スマートエネルギー Week」開始	2017年 10月	「日本の食品」輸出 EXPO」開始
2006年 7月	「ライフスタイルWeek」、「総務・人事・経理 Week」開始	2018年 1月	「資産運用 EXPO」開始
2009年 1月	リーマンショックを乗り越え、「第1回 オートモーティブ ワールド」成功	2021年 7月	RX Japan株式会社(アールエックスジャパン)に社名変更
7月	「Japan マーケティング Week」開始		

当情報は、2022年2月現在のものです。